

まちの話題

介護を楽しもう！ 介護の日イベントを開催

介護従事者や要介護者の声を聞き、介護の理解を深めることを目的として「西原町介護の日イベント」が11月22日に、町立図書館で開催されました。今年で4回目を迎える今回のイベントは、町内にある15の在宅・入所介護施設が参加しました。

会場には施設の職員や学生など多くの方が訪れ、介護予防体操を体験したり、介護グッズの実演を見学しました。

また、実際に家族を介護している当事者の話を聞く「一緒に笑って楽しむ介護～当事者やご家族に聞くセカンドステージ～」と題した講話が行われ、介護の体験が語られました。登壇した新里勝弘さんは「介護するほうが参ってしまうんじゃないかと思うくらい、介護は家族にとっても大変。介護施設のみならずのおかげで助かっている。」と語り、同じく島田賢松さんは「役所や社協に相談に乗ってもらい、施設の職員や民生委員も気遣ってくれるが、老老介護の状況でこの先不安もある。国や行政はもっとしっかり取り組んでほしいし、私たちもしっかり声を上げないといけない。」と参加者に訴えました。



介護予防体操を体験する参加者

小波津自治会で文化講演会を開催

地域の歴史や文化を学ぶことを目的に、小波津自治会(糸数栄吉会長)が「小波津の歴史の掘り起こし」と題した文化講演会を、11月7日に開催しました。

講演会には自治会の住民など約50名が参加。沖縄県立博物館の元館長で、グスク研究所の主宰を務める當眞嗣一さんを講師に迎え、小波津の地名の由来や歴史、戦争体験などを学び、地域への愛着を深めました。



災害時への備え！ 西原町建設協力会と協定を調印

災害時の被害予防や拡大の防止、早期復旧などの体制づくりを図るため「災害時における西原町の災害応急対策活動の支援協力に関する協定」の調印式が11月15日に行われ、西原町建設協力会(宮里佳齊会長)と調印を交わしました。

沖縄では台風や大雨などの災害が年中想定されている中、自然災害への対応や予防の必要性が高まっています。この協定では、災害発生時に必要な機材や技術者の派遣、被災状況の情報収集などについて連携することで、被害の予防、拡大の阻止や早期復旧を図るものです。

協定の調印にあたり、上間明町長は「町建設協力会の申し出により、災害対応のための協力体制が整えられた。これを契機にすべての企業、団体と連携体制が取れるような体制づくりを進めていきたい。」と抱負を語りました。



認知症を理解し、地域で支えよう

認知症に関する正しい知識を身につけ、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症サポーター養成講座が11月28日に町役場で開催されました。講座には老人福祉の関係者のほか、高齢者と触れ合う機会の多い金融機関やタクシー会社の社員などが参加。認知症への理解を深めました。講座では、西原町の介護や障害の認定審査会委員の諸見里安知さん(学校法人大庭学園、沖縄福祉保育専門学校教頭)が講師を務めました。諸見里さんは「認知症の予防や進行を遅らせるためには、趣味、社会とのつながり、会話などが必要。」と説明。患者との接し方などを講義しました。



講師の諸見里安知さん



「サポートセンターはばたき」が 20周年を迎え、記念式典を開催

障がい者の通所作業施設として運営する(社福)西原町社会福祉協議会「サポートセンターはばたき」が開所から20周年を迎えたのを記念して、11月22日に記念式典を開催しました。

「サポートセンターはばたき」はこれまでの20年間で13名の利用者が卒業、企業などに就職しています。現在は28名の利用者が、日々の作業に従事しています。

主催者を代表して、町社会福祉協議会の新川善昭会長が「多くの方や関係機関の温かいご支援で20年間続けてこられた。個々の持てる力を発揮して社会の一員となり、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、利用者の自立・社会参加を目指してこれからも取り組んでいく。」と、感謝を述べました。

式典に引き続き開催された祝賀会では、これまでの活動の写真や各班の紹介などが行われ、20年の思い出を振り返りました。



税について考えよう 「税を考える週間」の関連行事を開催

税の意義や役割、仕組みや目的などを考え、理解することを目的として毎年11月11日から17日に定められている「税を考える週間」にちなみ、関連行事が実施されました。

税に関する書道、標語、作文の表彰式が11月14日に町立図書館で開催されました。小学生の書道部門で与那嶺佳奏さん(坂田小6年)と神里季利さん(西原小6年)が西原町長賞を受賞したほか、中学生の標語部門で平良莉子さん(琉大附属中3年)が最優秀賞に輝きました。

また、11月21日に坂田小学校で行われた「平成24年度租税教室」では6年生158名を対象に、総務部税務課の職員が先生になって税金についての授業を実施しました。授業では児童から「どうして税金が上がるんですか」といった疑問に対し、職員が丁寧に解説しました。



租税教室のようす



税に関する書道、標語、作文の表彰式

西原ハイツ自治会に 放送設備が整備されました

宝くじの普及事業である「平成24年度コミュニティ助成事業」の助成を受け、西原ハイツ自治会(山里勝也会長)が野外放送設備の整備を行いました。山里会長は「放送設備が老朽化し、行事の際は保育園や学校から借用していた。設備が整い、日ごろの広報はもちろん、ハイツまつりや敬老会などの事業等にも活用して一層、自治会活動を活発にしたい。」と喜びを語りました。



演劇・朗読劇で本の魅力を感じる —町立図書館8周年記念公演会—

町立図書館の8周年を記念し、11月10日にチームスポットジャンブルが演じる公演会が同図書館で開催されました。公演は2部構成で行われ、演劇「素敵な本をありがとう」では、図書館を舞台にした物語が展開されました。朗読劇「ふたり語り」では、出演者が童話や物語を、ピアノの演奏に合わせて朗読しました。

